

部品交換要領書

玄関引戸 れん樹[DE]2・4枚建用 内召合せ錠

HHW13-083
2017年12月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください。

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

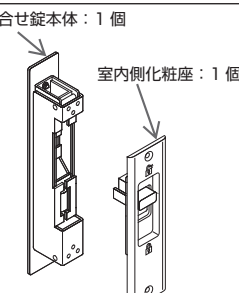
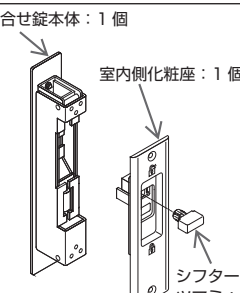
安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、引戸が急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

同梱されているもの

作業のために準備していただくもの

内召合せ錠		取付ねじ(共通)	プラスドライバー
HH-J-517811(シフター付)	HH-J-517812(脱着シフター付)	 室内側化粧座 取り付け用: 2本	 + 1本
 内召合せ錠本体: 1個 室内側化粧座: 1個	 内召合せ錠本体: 1個 室内側化粧座: 1個 シフターツマミ: 1個	部品交換要領書 本書 1枚	

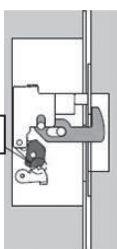
※部品が全てそろっていることを確認してください。
※HH-J-517812(脱着シフター付)のシフターツマミは取りはずしができます。

用語の説明

「ラッチ付」:引戸閉じ時のはね返り防止機構が付いた錠



ラッチ機能部



引戸を勢いよく閉めたときに引戸が枠からはね返ろうとしても、戸先錠の鎌がかかって、引戸のはね返り(開き)を防止する機構

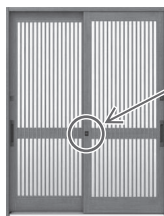
部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

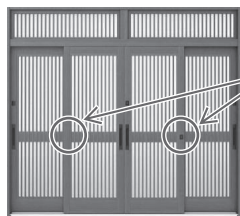
■ 引戸の開閉形式と内召合せ錠取付位置

2枚建



外観

4枚建



外観

※部品の取り付け方は6～9ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

戸先側操作部について

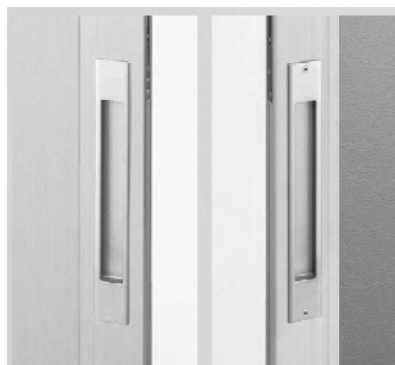
※戸先錠には引戸を閉める際のはね返りを防止するラッチ機構の有無があり、それぞれ戸先側の操作部には下写真の通りの3タイプがあります。

室内外側バーハンドルタイプ、室外側バーハンドルタイプの場合、内召合せ錠を取りはずすために、戸先側バーハンドルを取りはずす必要があります。

※戸先側バーハンドルの取りはずし方については次頁を参照してください。

ラッチ機構無

■ 舟底引手タイプ (取りはずし不要)



室外側

室内側

■ 室内外側バーハンドルタイプ (取りはずし必要)



室外側

室内側

■ 室外側バーハンドルタイプ (取りはずし必要)

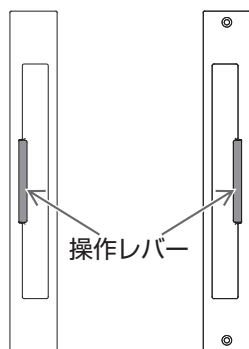


室外側

室内側

ラッチ機構付

■ 舟底引手タイプ (取りはずし不要)



操作レバー

室外側

室内側

※室内外側舟底引手共に操作レバー付です。

■ 室内外側バーハンドルタイプ (取りはずし必要)



室外側

室内側

※ラッチ機構付の室内外側バーハンドルはともに左右に動きます。

■ 室外側バーハンドルタイプ (取りはずし必要)



操作レバー

室外側

室内側

※室外側バーハンドルは左右に動きます。
室内側舟底引手には操作レバーが付いています。

※部品の取り付け方は6～9ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

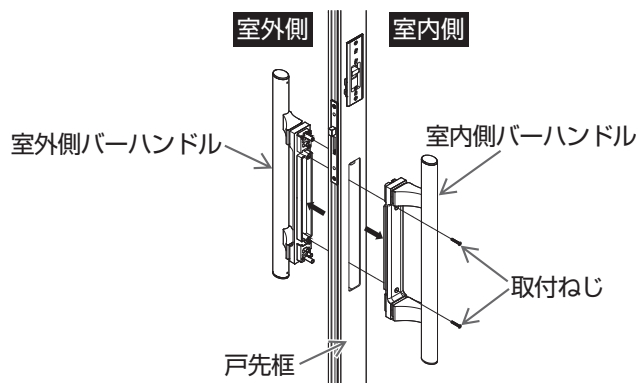
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

※本要領書では、ラッチ付で説明しています。ラッチ無も作業は同じです。

1 戸先側バーハンドルの取りはずし

室内外側バーハンドルタイプ

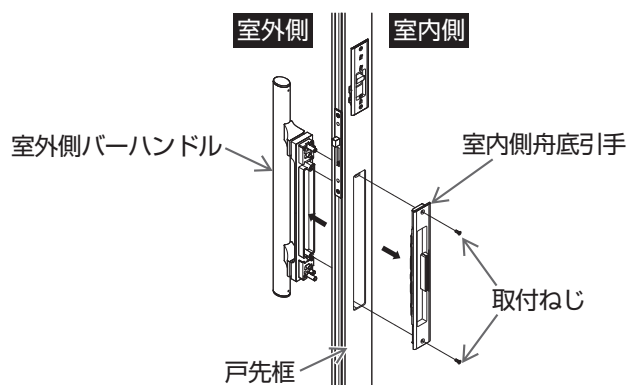


室内側よりプラスドライバーで室内側バーハンドルの取付ねじをはずし、室内側バーハンドルおよび室外側バーハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側バーハンドルがはずれます。
落下にご注意ください。

※取りはずした室内側バーハンドルおよび室外側バーハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

室外側バーハンドルタイプ



室内側よりプラスドライバーで室内側舟底引手の取付ねじをはずし、室内側舟底引手および室外側バーハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側バーハンドルがはずれます。
落下にご注意ください。

※取りはずした室内側舟底引手および室外側バーハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

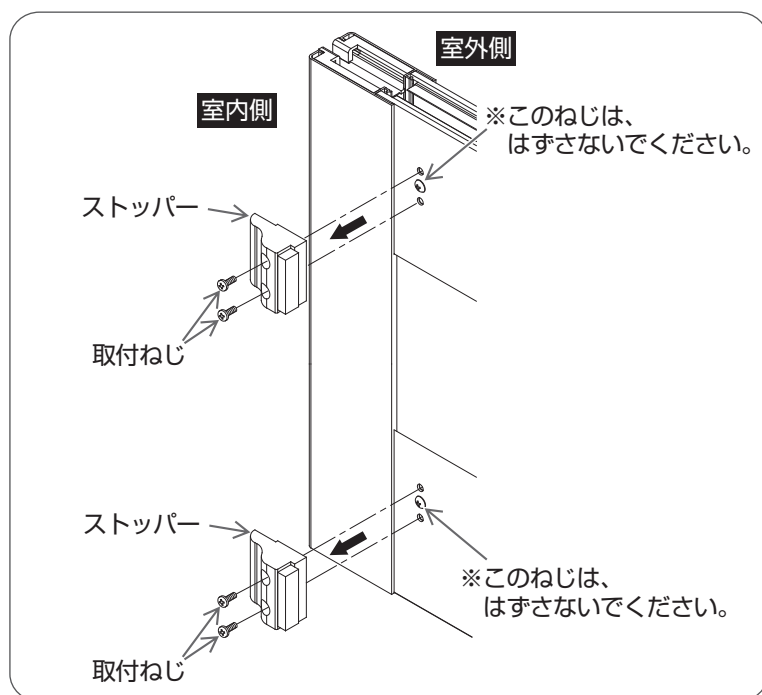
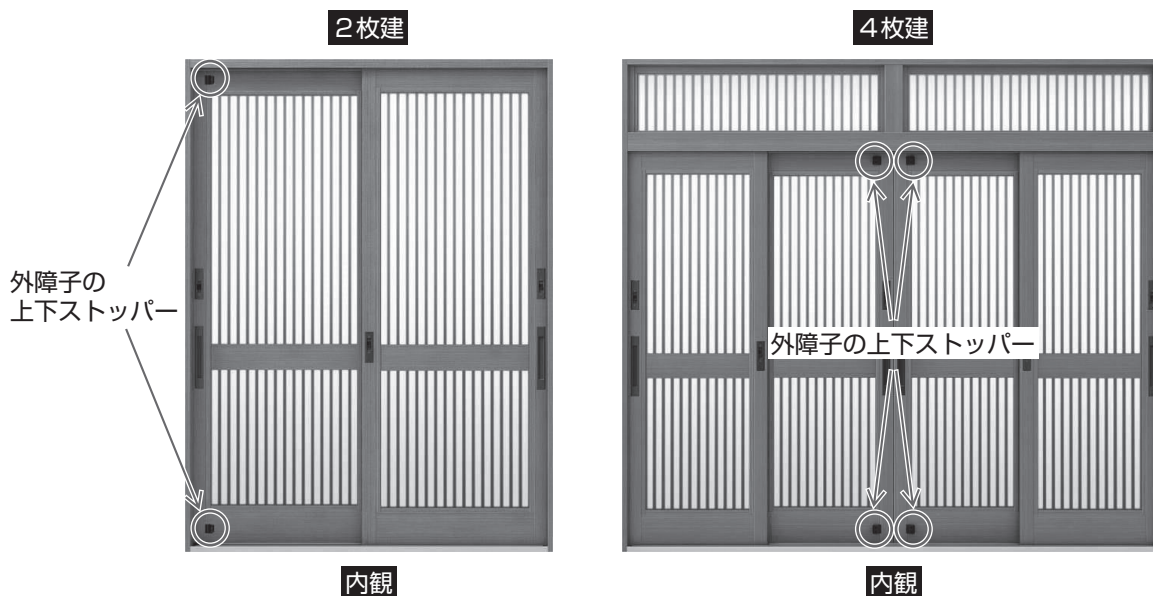
※部品の取り付け方は6～9ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

2 外障子の上下ストッパーの取りはずし



室内側よりプラスドライバーで外障子の上下ストッパーの取付ねじをはずし、外障子の上下ストッパーをはずす。
※内召合せ錠を取りはずすために必要な作業です。必ず、行ってください。
※取りはずした外障子のストッパーおよび取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

※部品の取り付け方は6～9ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

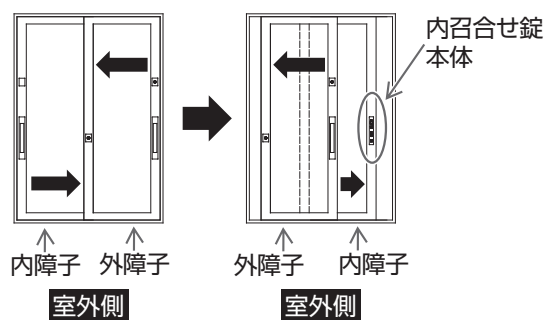
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

3引戸を行き違える

2枚建

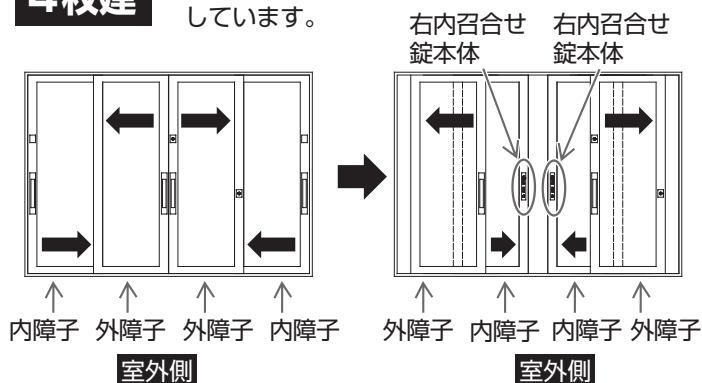
※説明図は戸先が室内外側舟底引手タイプで説明しています。



室外側より内障子と外障子を行き違わせて内召合せ錠本体を見えるようにする。

4枚建

※説明図は突合せが室内外側舟底引手タイプで説明しています。

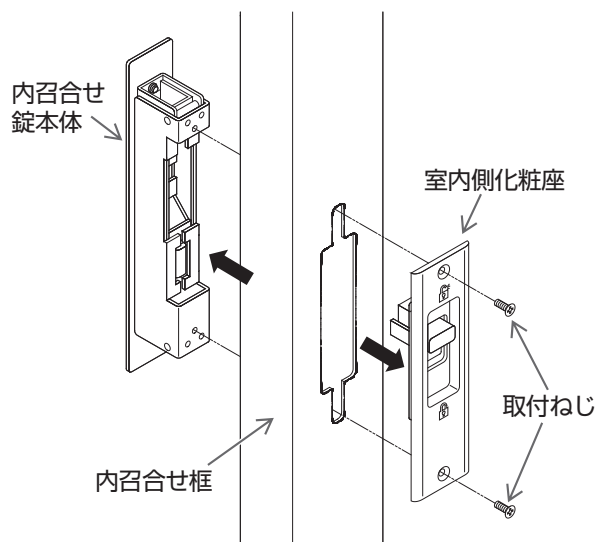


室外側より左右それぞれの内障子と外障子を行き違わせて左右の内召合せ錠本体を見えるようにする。

4内召合せ錠の取りはずし

室外側

室内側



室内側よりプラスドライバーで室内側化粧座の取付ねじをはずし、室内側化粧座および内召合せ錠本体をはずす。

※取付ねじをはずすと内召合せ錠本体がはずれます。

落下にご注意ください。

※部品の取り付け方は6～9ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

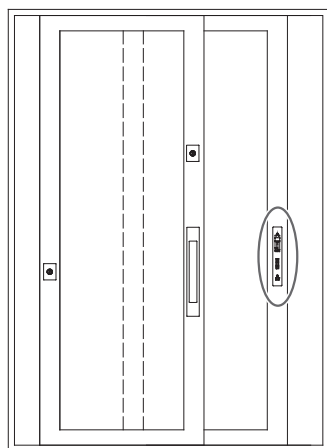
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください

※本要領書では、ラッチ付で説明しています。ラッチ無も作業は同じです。

1 内召合せ錠の取り付け

2枚建

※説明図は戸先が室内外側舟底引手
タイプで説明しています。

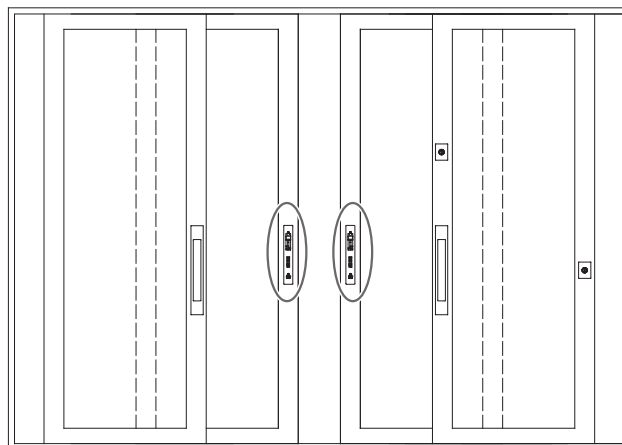


↑
内障子

室外側

4枚建

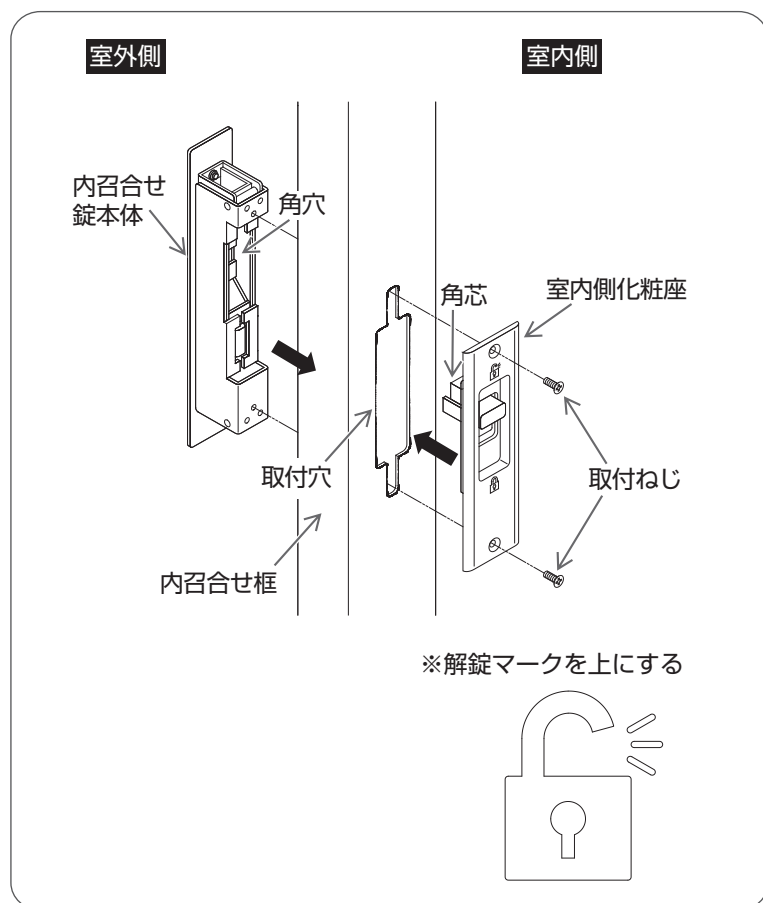
※説明図は突合せが室内外側舟底引手
タイプで説明しています。



↑
左内障子

↑
右内障子

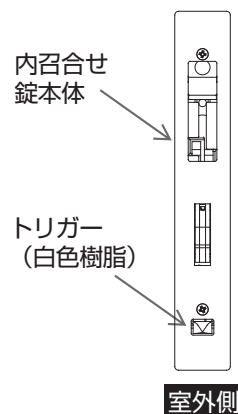
室外側



室外側より内召合せ錠本体、室内側より「解錠マーク」を上にして室内側化粧座を取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※室内側化粧座を取り付ける際、必ず室内側化粧座の角芯を内召合せ錠本体の角穴に差し込んでください。

※内召合せ錠本体を取り付ける際、トリガー(白色樹脂)を下にして差し込んでください。(下図参照)



※部品の取りはずし方は1～5ページをご覧ください。

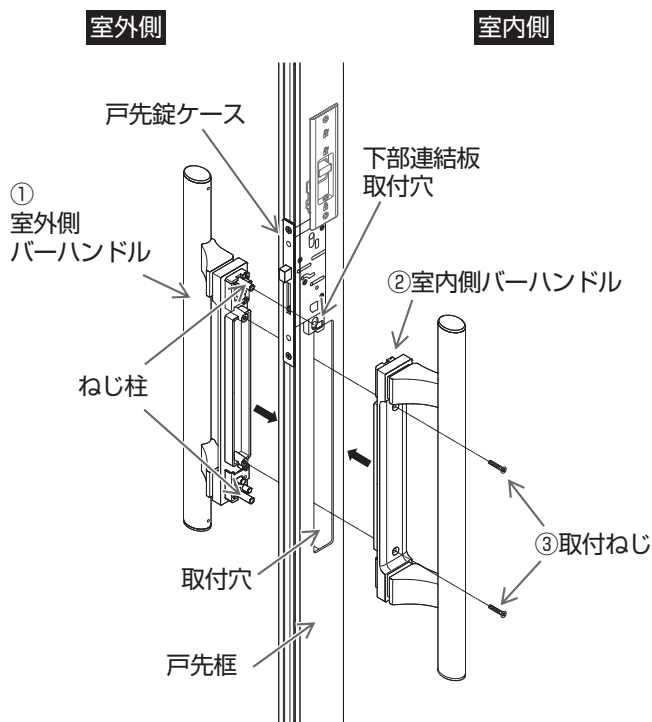
部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

2戸先側バーハンドルの取り付け

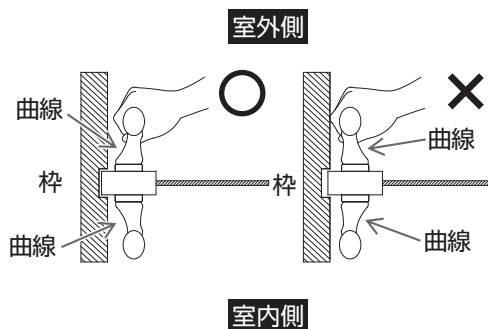
室内外側バーハンドルタイプ



- ① 室外側より室外側バーハンドルのねじ柱を戸先錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて、室外側バーハンドルを取付穴に差し込む。
- ② 室内側より室内側バーハンドルのねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③ 室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

※室内外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

室内外側バーハンドルの曲線部を枠側に向けて取り付けてください。下図右のように逆に取付けると引戸開閉時に手をはさむおそれがありますのでご注意ください。

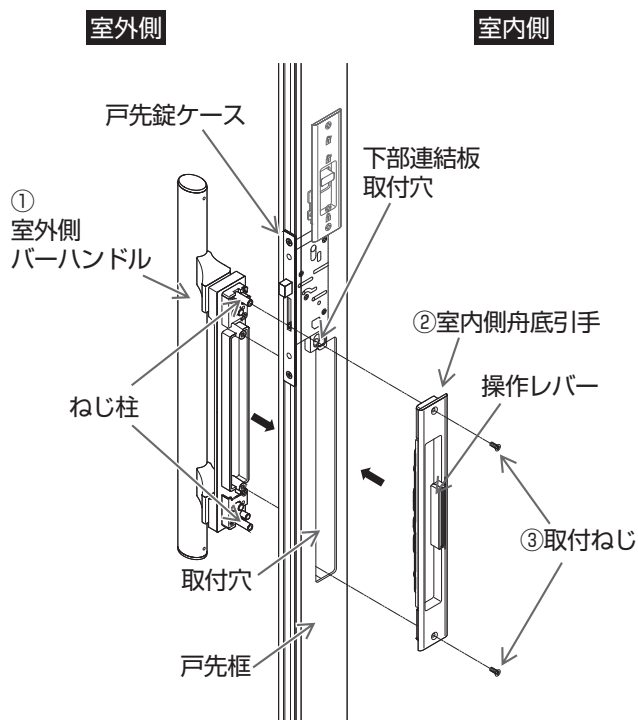


部品の取り付け方

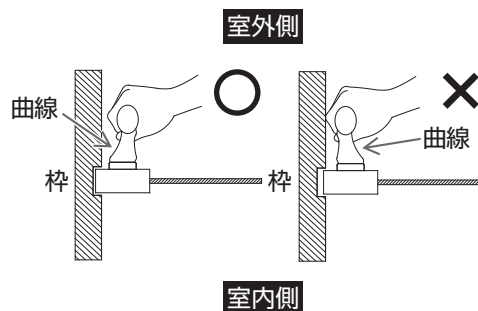
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

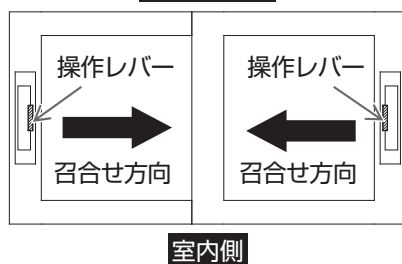
室外側バーハンドルタイプ



- ① 室外側より室外側バーハンドルのねじ柱を戸先錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて、室外側バーハンドルを取付穴に差し込む。
 - ② 室内側より室内側舟底引手の操作レバーを召合せ方向に向け、室内側舟底引手を室外側バーハンドルのねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
 - ③ 室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ※ 室外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項
室外側バーハンドルの曲線部を枠側に向けて取り付けてください。下図右のように逆に取り付けると引戸開閉時に手をはさむおそれがありますのでご注意ください。

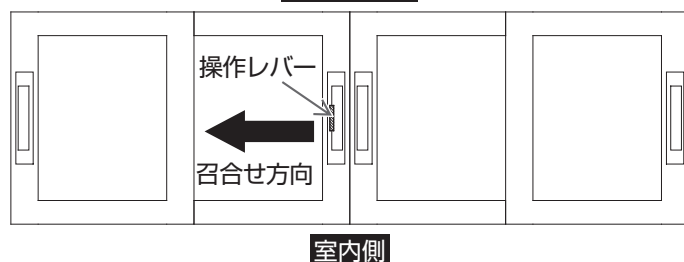


2枚建



※ 舟底引手(ラッチ付)を取り付ける時の注意事項
操作レバーが召合せ方向にくるように取り付けてください。

4枚建



※ 4枚建の場合、両側戸先框および室内側右突合せ框には操作レバー付舟底引手は取り付けません。

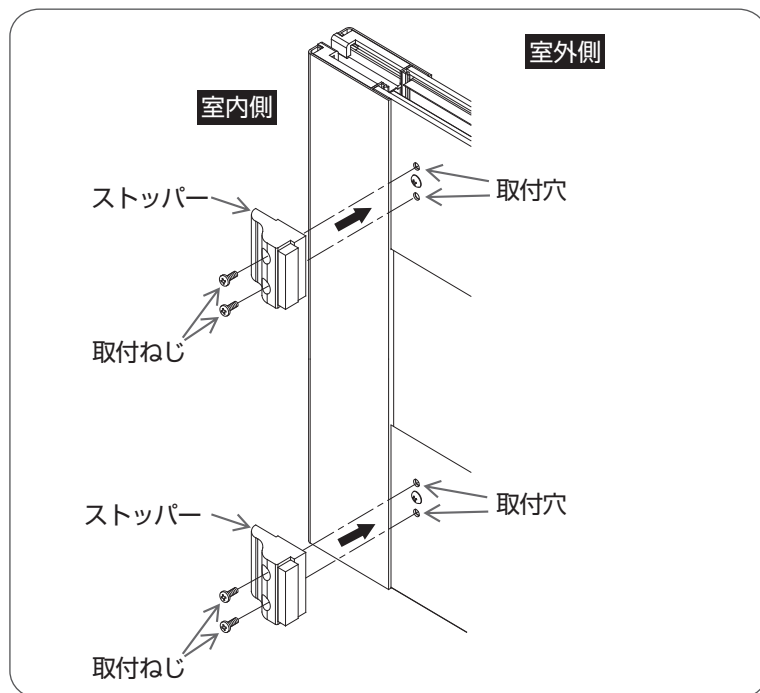
※ 部品の取りはずし方は1～5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

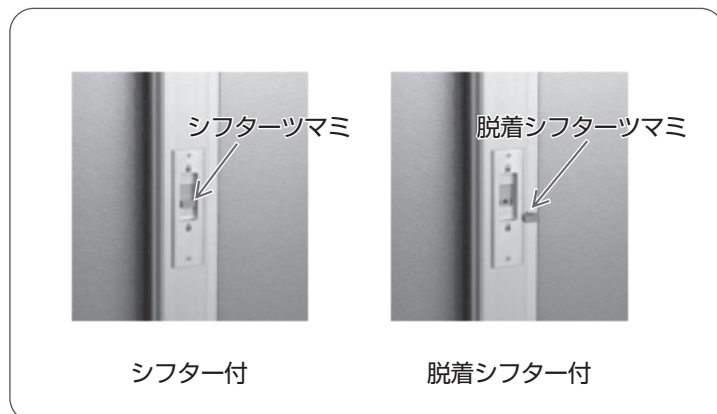
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

3 外障子の上下ストッパーの取り付け



室内側より外障子の上下ストッパーを取付穴に合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ④ シフターツマミを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ 脱着シフターツマミの取りはずし・取り付けができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1～5ページをご覧ください。